

雑誌 > 日経ビジネス2014年2月3日号

CULTURE

前の記事 次の記事

BOOK. テーマで選ぶ大人の読書

# ロシア大統領の思考を知る 政治書

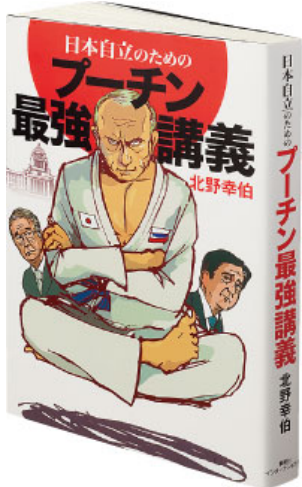
日経ビジネス2014年2月3日号目次



イラスト=下田 洋一

ソチ五輪開幕が迫ってきた。ロシアにとっては西側諸国のボイコットが相次いだ1980年のモスクワ以来で、初の冬季大会。国の威信がかかる。遅れが指摘されていた準備は急ピッチで進んだ模様だが、昨年末、連続爆破テロが起きるなど治安には依然不安が残る。プーチン大統領がいかに剛腕を振るうかに注目が集まる。

そのプーチン大統領の思考論理に触れられるユニークな本を紹介しよう。ロシア在住の国際関係アナリストによる『プーチン最強講義』だ。



『日本自立のための  
プーチン最強講義』  
北野幸伯著  
1600円（集英社インターナショナル）  
\* 価格は税抜き

(写真=スタジオキャスパー)

ロシア政界を追放され、日本に亡命したプーチンが、首相らのご意見番になるという奇抜な仮想ストーリーの中で、プーチン大統領が過去に実施した施策の背景を解説する。

国際舞台で戦わざるを得ない場合、「孤立は敗北」と心得て各国の「脅威度」を測りながら仲間を増やせ。国の自立のためには食糧やエネルギーの自給率を高める政策を取り入れよ——書中のプーチンはこう助言する。

検索

日経ビジネス バックナンバー



PLUS カレンダー

2014年2月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	1

Facebookもチェック

日経ビジネス  
いいね!

74,524人が日経ビジネスについて「いいね!」とっています。



Facebookソーシャルログイン

別冊・書籍のご案内



ロンゲセラーが会社をダメにする  
アイリスオーヤマ社長 大山健太郎

別冊一覧はこちらから

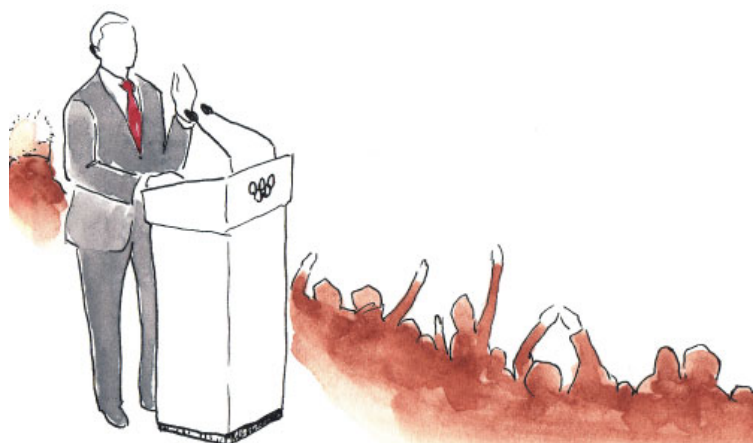
実際のプーチン大統領も米国への対抗から、極東で領土問題を抱える中国と手を組み、中央アジア諸国とともに上海協力機構を形成。2012年に実現した世界貿易機関（WTO）加盟では長年に及ぶ交渉の末、農業分野に年間90億ドルまで支援できる条件を勝ち取り、新興財閥の石油王が米エクソンモービルに会社を譲渡しようとした時には、米国による石油支配を避けるため、“政敵”とされた石油王を逮捕・投獄までした。

元KGB（旧ソ連国家保安委員会）という肩書も相まって、独裁者、強権という批判がつきまとうプーチン大統領だが、ソ連崩壊後のロシアを再び国際社会に押し上げたのは事実。本書からは、「一国のリーダーとして何を重んじてきたか」というプーチン大統領の本質が浮かび上がり興味深い。

領土問題、靖国神社参拝問題などで中国、韓国との関係は冷え込むばかり。TPP（環太平洋経済連携協定）交渉ではコメ、砂糖など“聖域”を守りたい日本に対し、米国は関税撤廃を迫る。難題を抱える日本。「プーチンならどう判断し、行動するか」を想像し、現実と比較するのも面白いだろう。

ロシアが様々な懸念を払拭し、五輪という夢舞台を成功させれば、本書の“講義”もさらに説得力を増すというもの。浅田真央や高梨沙羅らの活躍のほかにも見どころを増やす1冊だ。

文=小林 佳代



イラスト=下田 洋一

日経ビジネス2014年2月3日号 84ページより

[B1 はてな](#)
[ツイート](#)
[mixiチェック](#)
[いいね!](#) 0
[メール](#)



コメントを追加...

コメントしています...

警告: <http://business.nikkeibp.co.jp/article/NBD/20140127/258829/?ST=pc>に到達できません。

Facebookソーシャルプラグイン

[前の記事](#)

[日経ビジネス2014年2月3日号目次](#)

[次の記事](#)

日経ビジネス :: 購読申し込み | 無料お試し | 有料会員の解約 | お問い合わせ | 利用規約 | スマホ版

| [日経ビジネスオンライン会員登録・メルマガ登録](#) | [広告ガイド](#) | [日経BP書店](#) |

| [著作権・リンクについて](#) | [個人情報保護方針/ネットにおける情報収集/個人情報の共同利用について](#) |



大学生の「今」が分かる日経ビジネス アカデミック・サポート・プログラム

日経ビジネスDigitalとは

PLUS	雑誌	パーソナル
PLUS 日経ビジネスDigitalの 日替わり独自コンテンツ	雑誌 日経ビジネス最新号の 全記事(一部先行公開)	

日経ビジネスDigitalは、「PLUS」と「雑誌」にコンテンツを配信しています。機能やサービスについて、詳しくは[ご利用ガイド](#)をご覧ください。



Copyright © 2011-14 Nikkei Business Publications, Inc. All rights reserved.

このページに掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。著作権は日経BP社、またはその情報提供者に帰属します。掲載している情報は、記事執筆時点のものです。